



# 南太秦だより

令和4年度後期学校評価結果

令和4年度後期学校評価結果 臨時号

京都市立南太秦小学校

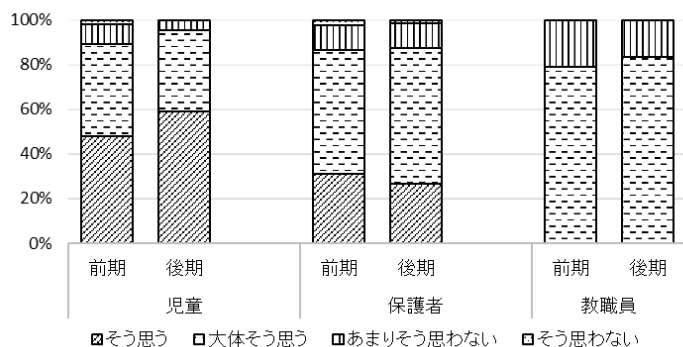
校長 上田 清乃

「南太秦小学校の教育に関するアンケート」をまとめましたのでご報告いたします。保護者の皆様には、92%の方にご回答いただきました。ご協力、ありがとうございました。アンケート項目を『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』の3つにまとめ、それぞれについて前期と後期の結果との比較を行い、今年度の成果と課題などをまとめています。

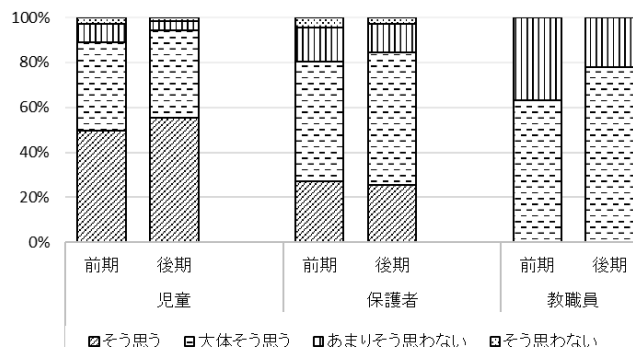
## 確かな学力

学ぶ意欲をもち、進んで表現する子

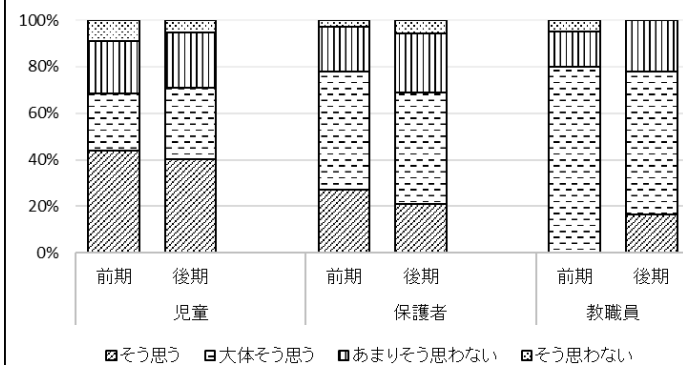
### 学校の勉強はよくわかる



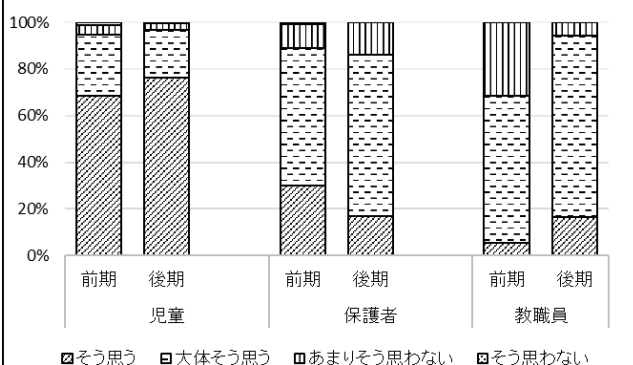
### 基礎学力が身についている



### 自分の意見や考えを話すことができる



### 友達の意見や考えを聞くことができる



★ 「学校の勉強はよくわかる」「基礎学力が身についている」の項目で、3者とも肯定的評価の総計が増えています。

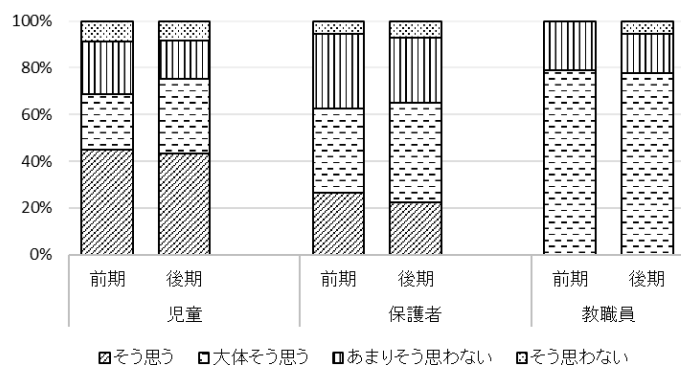
★ すべての項目で児童自身の肯定的な評価の総計は上昇しています。

## 【考察】さらなる向上を目指して

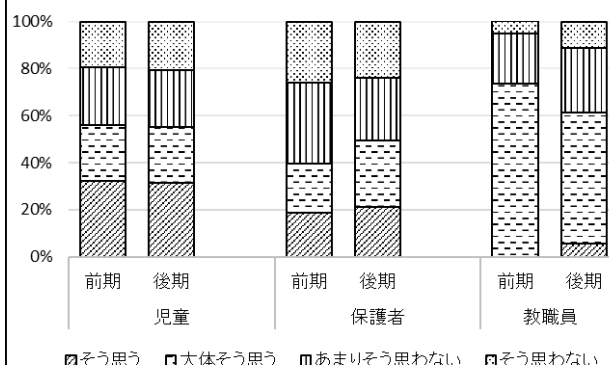
学習の理解や基礎学力に関する項目について、割合に違いはあるものの、3者とも「そう思う・大体そう思う」の総計が増え、学力が確かなものになってきたのを感じます。特に児童自身の評価が上がっていることはうれしいことです。基礎学力に関しては、教職員の視点からも「大体そう思う」が伸びており、授業の様子などから手ごたえを感じているのではないかと思います。保護者の方の「そう思う」の割合が若干低くなっていますが、学年末であり、次の学年を見据えてさらなる学力向上を願っておられることが考えられます。

本校では「協働的に取り組む力」「積極的に発信する力」を軸として授業づくりに取り組んでいます。ペア学習やグループ交流など、子どもたち同士の話し合いの場面を授業の中に取り入れてきました。その結果、児童・教職員共に、「話す・聞く」の項目で「そう思う・大体そう思う」の総計が増え、力が向上してきたことを実感しているのだと思います。全体的に見ると、「聞く」ことよりも「話す」ことに課題があると見られるので、今後も子どもたち同士が対話的に学びを深める場面を意図的につくっていかれたらと思います。

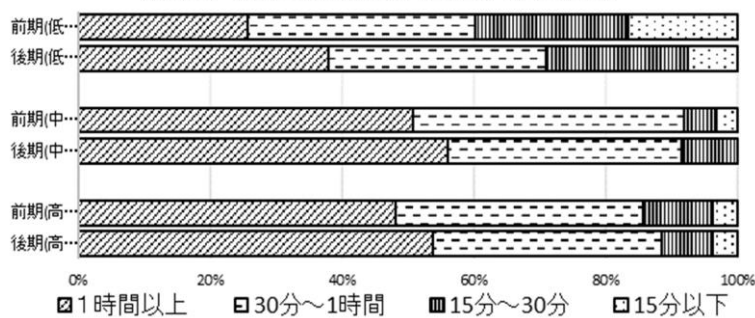
## 家庭学習の習慣が身についている



## 進んで読書をしている



## 家庭学習の時間(宿題・自主学习を含む)



クラスで自主学习を紹介するなどの取組が、意欲的な学習や家庭学習時間の増加につながっています。

## 「心にとっての読書は、身体にとっての運動」

家庭学習の時間は、低・中・高学年とも時間が増え、家庭学習の習慣についても改善が見られる結果となっています。読書に関しては日常生活の中で時間を確保するのが難しいと思われませんが、「読み聞かせ」や「親子で読書」など、読書に親しむ時間やきっかけを意図的に作っていただくことも良いかと思います。学校でも取組を考えていけたらと思いますので、その際はご協力をお願いいたします。

## 健やかな体

## 心と体を大切にする子

Good!



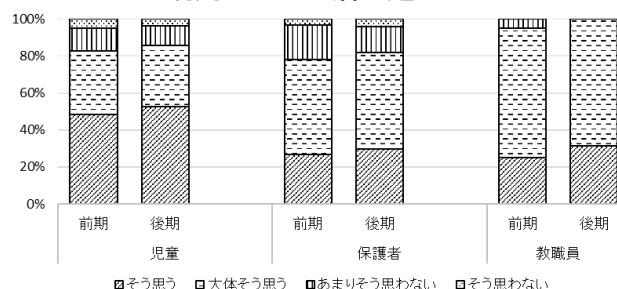
★ 3者ともに「そう思う」「大体そう思う」の総計が改善しました。

## 【考察】規則正しい睡眠習慣を

前期評価よりも、「そう思う・大体そう思う」の総計が向上しています。規則正しい生活は、学力や学校生活に大きく影響するものなので、ご家庭でしっかりと支えていただいていることが、学校での子ども達の生き生きとした姿につながっているのだと思います。

本校では、ゴールデンウィーク明け、夏休み明け、冬休み明けと生活リズム調べを行っています。その中で気になるのが「就寝時刻」です。学校では、「低学年は9時、中学年は9時30分、高学年は10時」を目標の就寝時刻として指導しています。小学生には9時間以上の睡眠が必要と言われていますが、就寝時刻が遅くなれば睡眠時間の確保も難しくなります。日本学校保健会の調査によると、子ども達の生活の夜型化が進み、睡眠不足を感じている子どもが増加しているそうです。睡眠不足には様々な理由がありますが、やはり低学年ほど家族の生活の影響を受けがちです。お子様の心身の健やかな成長を考え、普段から規則正しい睡眠習慣を呼びかけていただけたらと思います。

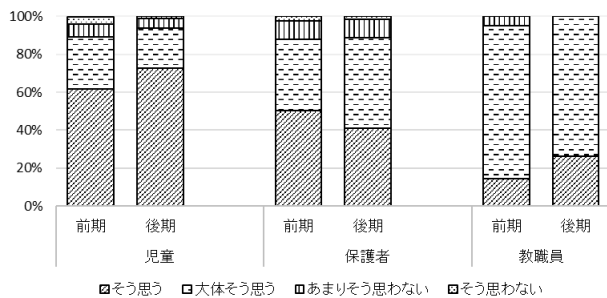
## 規則正しい生活を送っている



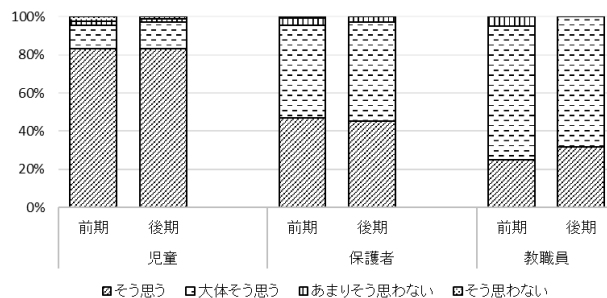
## 寝る子は育つ？ 寝る子は育つ！

人間にとって睡眠は疲労回復の時間、また成長段階途中の子どもにとっては成長ホルモンが分泌される大切な時間です。子ども達は、日々多くのことを学び、脳や体を使っています。そのため、大人よりも長い睡眠時間を必要とします。十分な睡眠時間は、頭と心を休め、健全に発育・発達するために欠かせない時間です。

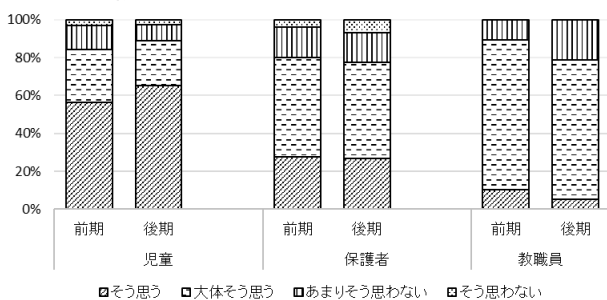
### 学校は楽しい



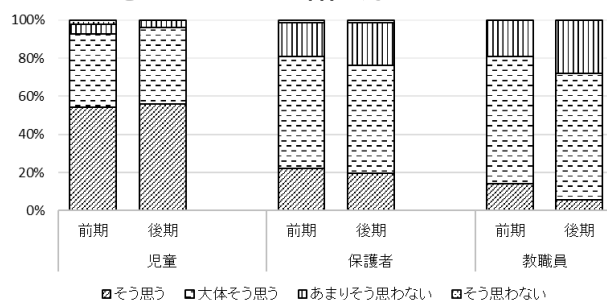
### 仲間はずれをせず、友達と仲良くしている



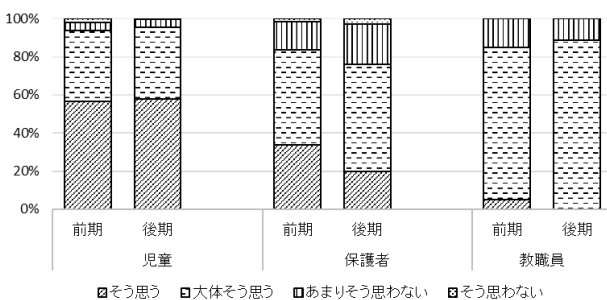
### 教職員に相談しやすいと感じている



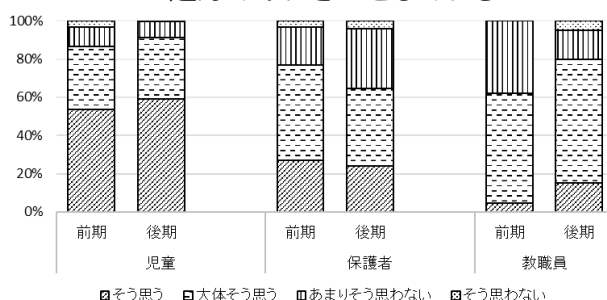
### 思いやりのある話し方ができている



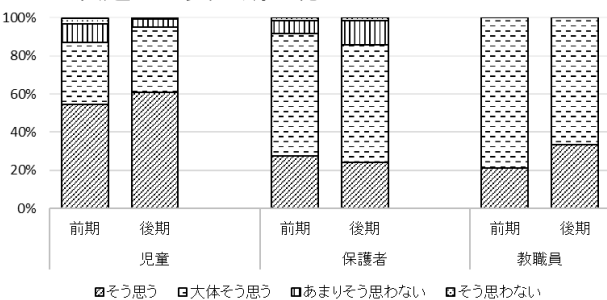
### きまりや約束を守っている



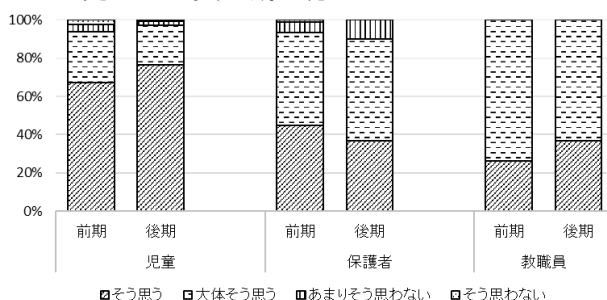
### 進んであいさつをしている



### 友達から良い所を分かっている



### 先生から良い所を分かっている



- ★ 全体として8～9割の肯定的評価が見られます。
- ★ 「学校は楽しい」や「進んであいさつをしている」など、児童・教職員共に「そう思う」のポイントが上昇している項目が複数あります。
- ★ 「きまりや約束を守っている」や「進んであいさつをしている」など、保護者の「そう思う」「大体そう思う」の割合が下がっているものがあります。

## 【考察】価値づけから価値への気づきへ

児童の評価では、すべての項目で肯定的評価の割合が上昇し、全体的に子ども達の心の安定が見られます。特に、「教職員に相談しやすいと感じている」や「友達から良い所を分かっている」「先生から良い所を分かっている」の項目では、「そう思う」の割合が増えており、相互理解、関係の深まりが分かります。そのことが基盤となって、「学校は楽しい」につながっているのだと思います。

課題となっていた「進んであいさつをしている」の項目についても改善が見られ、学校生活の充実が相乗効果的に広がっていると感じます。6年生の「会社」の活動をはじめ、他の学年でも自主的な活動や他学年とのつながりを意識した取組が増えたことも要因の一つかと思います。児童会活動でも、「みなうず世界一宣言」を掲げ、各クラスで行動目標を設定し、取り組んできました。子ども達自身が自分たちの活動によって、より良い学校生活への意識を高めていく姿が見られました。自分たちで決めた行動目標に対して、クラスや学年でふり返り、価値づけをいくことでさらに活動・行動を高めていけたのではないかと思います。

一方で、「進んであいさつをしている」、「きまりや約束を守っている」の保護者の方の評価が下がっていることも気にかかるところです。学校での頑張りがお家や地域で見られないこともあるのかと思います。どんな場面でも、気持ちのよい行動ができるように、「自ら考え、判断し、実行する力」を高めていけたらと思います。

## 自由記述（一部抜粋）

- 家であまり読書をしていないので、本をもっと読んでほしいです。ゲームの時間は守れていますが、タブレットで動画を見る時間が長い時があるのでルールをしっかりと守ってもらうようにしていきたいと考えます。
- 自主学習が小3から毎日あるのは、負担もあるが、家庭学習の習慣になる。
- 真面目に学習に取り組んでいると思います。だんだん難しくなり、半泣き状態で宿題をしている日もありますが、翌日、学校から帰宅すると「今日は分かった」と言って嬉しそうに机に向かっていて安心します。
- 毎日、お友達と遊んで楽しく過ごしていると思います。ただ、公園で外が暗くなっても遊んでいるのはどうかなと思う。
- 学年が上がるにつれて（放課後友達の家などに行って）帰宅時間が遅くなり、日が暮れて暗くなっているのに外で騒いでいる子ども達を見かけることが多くなる。
- （読書について）自宅では一切なくなっていました。子どもに言うのではなく、子どもと一緒に私も本を読む時間を作ろうと思います。
- 春からマスク着用緩和となるようですが、約3年つけた子ども達が「つける自由」、「外す自由」を選べるよう、大人がそれを「大丈夫だよ」と言ってあげられるように、親も学校の先生方と一緒に伝えてあげられるようにしたいと思っています。

今回いただいたご意見・ご感想については、今後の教育活動の参考にさせていただきます。また、何かお気づきの点等ございましたら、随時学校までご相談ください。

## 学校運営協議会理事の皆様より（一部抜粋）

- “話す”、“聞く”について、どちらも前期より後期の方が肯定意見が増加しており、確実に学力が向上していると言えると思います。ペア学習、グループ交流などの成果が上がってきていると実感できます。
- 聞くことについては非常に良いアンケート結果になっているということは、子供の成長に伴って話す力もついてくると思います。
- 「聞く」と「聴く」「理解する」の違い、「話す」と「伝える」の違いが伝えられればいいと思う。
- 古い考えと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、子ども達は少なからず大人（保護者）の姿を見て日々成長していると思っています。あいさつや読書等もおしつけるのではなく、親御さんたちから積極的に始めてみられてはいかがでしょうか。
- あいさつについて、「進んでできる」のがもちろんいいが、「返してくれる」こともうれしいものだと思ってほしい。
- 読書に関しては、読書習慣のない親世代にも、子ども達から親と一緒に読める物語等を学校で紹介して、家で親と話す、読むきっかけづくりをしていただけると良いと思います。
- “学校は楽しい”を含め、全ての項目で子供たちの肯定意見が増えているのは、何よりも安心できる結果です。保護者の評価が下がっている項目が見受けられますが、家庭ではこの辺りの成長を感じにくく、保護者での評価が難しい様に思えます。
- きまりや約束事は、保護者が厳しい判断をされていますが、このことは大人になっても必ずついてまわりますので、今からしっかりと身につけてほしいです。
- 教職員と児童、保護者で、対象や母数が違うため、単純比較できないことはある。それぞれの立場で、この結果をどのようにとらえるかが大事だと思う。